

ならチャレンジレター 第4号

奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、福祉・介護の仕事を選択でき、安心して就職できる事業所を広く紹介してまいります。

チャレンジ事業所支援 活用先インタビュー

認証制度に出会ったきっかけは何ですか？

認証事業所が、奈良県福祉人材センターが行う「福祉就職フェア」に参加し、PRできることが魅力的でした。また、当法人が組織の仕組みづくり（本格的な人事考課の実施など）に注力してきたこと、求人方法が大きく変化してきたことも受け、認証取得を考えました。



【法人名】社会福祉法人ひまわり

【形態】グループホーム、就労継続支援 等

【所在地】奈良県磯城郡

チャレンジ事業所支援は活用できましたか？

集合研修での説明形式ではなく、個別に相談できる仕組みであり、特に小規模事業者にとっては適していると思います。ある程度、組織・人事の仕組みが整っていたこと、法人の事務スタッフの協力もあったことから、前向きに取り組むことができました。

認証取得に向けた準備はいかがでしたか？

法人規模によっては努力義務でありながら認証取得の上では必要な、ストレスチェックの仕組みを本格始動する際に労力がかかりました。仕組みが機能するのか、漠然と不安に感じていた部分もありましたが、個別に社会保険労務士の協力も受け、無事整備できました。

人材育成や働きやすい職場づくりを、どのように進めていますか？

認証を取得して満足するのではなく、今後、組織の仕組みを見直す際にも活かしていきたいです。特に、グループホームで夜勤ができる職員を確保しにくい現状があります。これまでの「夜間勤務の不足はアルバイトで補う」という考えは通用しなくなっていると感じているので、安定した雇用を法人として保障できるような組織、処遇の仕組みになっているか、今後見直していきたいと思っています。認証制度は、このように安心して働ける職場づくりの取り組みを、学生に対しアピールするうえで効果的なツールになっていると感じています。

想い：「厳しい時代だからこそ、経営基盤の強化や、前向きな人材育成にチャレンジしたい」

生産年齢人口が減り、高齢人口が増えるなかで、介護人材を確保することがますます難しい時代になると感じています。しかし、困ったと頭を抱えているだけでは物事は前に進まないため、認証制度を通じて、どのように人材確保・育成ができるかを考えています。何事も経営が安定・持続してこそできることですので、安定したサービス・事業運営を続けていきたいです。

常務理事 渡辺 哲久

<チャレンジ事業所支援の流れ>

チャレンジ宣言



小規模事業所向け認証制度チャレンジ事業所に申請します。（別紙申出書によりお申出下さい）

県ホームページ掲載



奈良県のホームページに認証にチャレンジしている事業所である旨を掲載します。

無料初期診断・相談



専門家（県からの委託）がご訪問し、認証取得に向けた無料相談に対応します。

認証取得に向け準備



認証取得に向けた体制整備、制度の周知発信などに取り組んでいただきます。

認証取得



認証基準をクリアすることで、認証事業所となり、改めて県HPに掲載いたします。